

様式3

指定管理業務 事業評価書(市及び指定管理者作成)

平成28年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手市民文化体育館(アスカル幸手)
施設所管課	教育委員会 スポーツ振興課 (内線 652)
指定管理者名	NEM/NTTファシリティーズ共同事業体
指定期間	平成26年4月1日 ~ 平成31年3月31日 (3年目)

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
I 履行の 確認	1 施設全般管理運営に関する業務			
	(1)職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか	3	3
	(2)職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	3	3
	(3)利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	4	4
	2 施設利用に関する業務			
	(1)利用状況	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか ※1	3	3
	(2)利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	3	3
	3 保守点検並びに清掃等業務等			
	(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	3	3
	(2)清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか	3	3
	(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	3	3
	(4)修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	3	3
	4 事業の実施に関する業務			
	(1)指定業務	基準に基づく指定業務が適切に行われたか	3	3
	(2)自主事業	基準に基づく自主事業が適切に行われたか	4	4
	5 個人情報の取扱い	個人情報の取り扱いが適正に行われたか	3	3
	6 管理目標	設定目標に対する結果は妥当であるか ※2	3	3
	7 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	3	3
	8 その他			
	(1)記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	3	3
	(2)経理	経理処理が適切に行われたか	3	3
	(3)意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか	3	3

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅱサービスの質の評価	1 利用者満足度	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	4	4
	2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	3	3
	3 運營業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	4	4
	4 指定事業・自主事業			
	(1) 指定事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	4	4
	(2) 自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	4	4

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅲ安定性の評価	1 事業収支	事業収支は妥当であるか ※3	3	3
	2 経営状況分析指標	経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	3	3
	3 団体等の経営状況	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※5	3	3
合計得点		Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの評価点数の合計(得点／満点)	81 100	81 100

総括	指定管理者の自己評価	28年度の利用件数は対前年比で4,093件増(+104.6%)、利用人数は8,608人増(+103.3%)、利用代金は1,464,050円増(+105.5%)で、全て対前年比増を達成いたしました。中でも主要施設であるトレーニング室の利用件数は対前年比で3,071件増(+103.9%)、利用料金は412,650円増(+102.6%)となり、本年も指定管理者として市民の皆さまの健康増進を支援する運営が実践出来たと考えています。文化事業についてはお笑いLIVE、お子様向けミュージカル、クラシック、ポピュラー音楽公演、市民参加による第九コンサートなどバラエティに富んだラインナップをご提供出来たことで、市民の皆さまの芸術文化振興に寄与出来たと考えています。経費については、本年度も支出額の大きい光熱水費の削減に務めた結果、対前年比で3,243,323円減の結果となりました。次年度も引き続き環境に配慮した省エネ活動を推進してまいります。
	施設所管課の評価	協定の基準を遵守し、良好な管理運営を行っている。 施設管理においては、計画的に保守点検を実施し、必要に応じて適切に修繕を実施している。また、省エネ活動も積極的に取り組んでいる。 利用促進業務では、スポーツ教室、芸術文化公演、婚活事業など多様な自主事業を開催し、幅広い世代の利用拡大に取り組んでいた。特にトレーニング室においては、プログラムやキャンペーンが好評で今年度も利用件数・利用料金をさらに伸ばしている。また、昨年度に引き続きトレーニング機器の入れ替えを実施し、利用環境の整備も行っていることも評価できる。

総合評価	区 分	S
	特記事項	

《評価区分》

評価点数	4	協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
	3	協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
	2	協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
	1	協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である
総合評価	S	極めて良好に施設を管理している。(評価点数がすべて3以上であり、かつ4が2つ以上である)
	A	良好に施設を管理している。(評価点数がすべて3以上である)(上記以外)
	B	概ね適正に施設を管理しているが、内容の一部に課題がある。(評価点数に2が含まれている)
	C	改善を要する管理運営状況である。(評価点数に1が含まれている)